

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22059	事業名	かめやま文化年事業			
	事業手法	☒ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助等 ☒ その他(実行委員会により開催)					
	施策体系	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実		予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	06:文化芸術の推進			款	10:教育費
		施策の方向	01:文化施策の推進			項	05:社会教育費
	重点プロジェクト	02:「まち紡ぎ」プロジェクト		目	07:文化振興費		
事業期間	R 4 年度 ~ R 7 年度	主な根拠法令等	亀山市文化芸術推進基本条例、亀山市文化芸術推進基本計画				

評価分類	B2
------	----

担当部署	
部	市民文化部
課	文化課 文化・人権G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	市民一人ひとりがこれまでに培われてきた文化芸術を継承、発展させるとともに、様々な人々や団体等の交流を通じ、新たな文化芸術や地域のにぎわい・魅力の創出を図るため、教育・健康・スポーツ等、様々な分野と連携し、年間を通じて様々な文化に関する取組を行う「(仮称)かめやま文化年事業」を実施する必要がある。	市民、本市に関わる全ての人	かめやま文化年の事業を通じ、市民をはじめ参加する人が自己実現により満足感や達成感を感じることで市民の文化力の向上を図るとともに、文化芸術分野と他分野との連携を強化することで、新たな文化芸術の創造、地域のにぎわい・魅力の創出につなげる。	これまでのかめやま文化年を礎に、様々な分野の取組と文化芸術との連携を図るとともに、まちのにぎわいや魅力の創出につながる取組を集中して実施する。

③事業の実施状況（P・D）

年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業計画		○事業の検討		○（仮称）かめやま文化年2024実行委員会等の設置 ○かめやま文化年2024実施計画等の策定		○かめやま文化年2024の開催		○かめやま文化年2024に係る事業の検証 ○かめやま文化年2024に係る記念誌作成	
活動実績 （計画通り実施できたか）		新たなかめやま文化年事業検討の一環として、亀山市文化芸術推進審議会でこれまでのかめやま文化年事業の検証を行い、事業に対する提言書を受け、市の方針を決定した。 その後、市の方針に基づき、かめやま文化年2024実行委員会の立上げに向け、公募等により委員選定の準備を行った。		かめやま文化年実行委員会を設置の上、9回の会議を開催し、コロナ禍で活動が制限された子どもたちの文化芸術活動への参画拡大が図られるよう、キャッチコピーを「まちがにぎわい こどもがわらう」と定めた。また、文化の継承と創造を育む事業の開催など「かめやま文化年2024」の事業内容を決定できた。周知準備として、ロゴを決定し、ホームページを完成させた。		かめやま文化年実行委員会を6回開催し、10・11月の2か月間に、実行委員会主催の子ども向け事業を集中して開催した。また、文化芸術活動団体等7団体による文化芸術創造事業が実施されたほか、市主催として、市文化大使を迎えての事業や、地域における文化芸術映像化・活用事業、俳句講座・講演会等を実施するとともに、様々な媒体を活用して一体的に広報活動を行った。		前年度実施したかめやま文化年事業の検証を目的として、かめやま文化年実行委員会を2回開催し、事業内容の振り返りと改善点の整理を行った。また、事業の成果をまとめた記録誌を作成し、関係者等へ配布した。	
計画額	事業費		0千円	3,500千円	3,500千円	20,200千円	18,675千円	400千円	394千円
	国・県支出金		0千円				0千円		0千円
	地方債		0千円				0千円		0千円
	その他		0千円				2,500千円		0千円
	一般財源		0千円	3,500千円	3,500千円	20,200千円	16,175千円	400千円	394千円
決算額	事業費		0千円		3,322千円		17,324千円		394千円
	国・県支出金		0千円		0千円		0千円		0千円
	地方債		0千円		0千円		0千円		0千円
	その他		0千円		0千円		2,500千円		0千円
	一般財源		0千円		3,322千円		14,824千円		394千円
①期間内計画額(R4-7)		24,100千円		②期間外計画額(R8-)		0千円	①+②総計画額		24,100千円

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	394千円
次年度への繰越額	0千円

⑤ 成果（Ｃ）	判定	事業実施により得られた成果（誰に（何に）対してどのような効果があったか）	事業の対象	事業の目的
	A 十分な成果を得た	事業の記録誌を作成したことで、イベントの目的・実施内容・成果が整理され、関係者間での情報共有が円滑になるとともに、事業の意義が視覚的に伝わりやすくなり、次年度以降の企画立案に活用できる基礎資料となった。また、検証の場を設けたことで、職員・関係団体・参加者等からの多角的な意見を収集できた。これにより、運営体制や広報方法など、改善点を具体的に把握でき、次期文化年に向けて生かせる知見を得ることができた。	市民、本市に関わる全ての人	かめやま文化年の事業を通じ、市民をはじめ参加する人が自己実現により満足感や達成感を感じることで市民の文化力の向上を図るとともに、文化芸術分野と他分野との連携を強化することで、新たな文化芸術の創造、地域のにぎわいや魅力の創出につなげる。

⑦事業の展開（Ａ）	方向性	
	完了	目的の達成又は周期の到達等により事業を完了する。
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの	令和9年度以降で対応するもの

事業の対象	事業の目的
市民、本市に関わる全ての人	かめやま文化年の事業を通じ、市民をはじめ参加する人が自己実現により満足感や達成感を感じることで市民の文化力の向上を図るとともに、文化芸術分野と他分野との連携を強化することで、新たな文化芸術の創造、地域のにぎわいや魅力の創出につなげる。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定		A	A	A
事業展開	継続(拡大)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	完了

1次評価者	市民文化部 文化課 文化・人権GL 木村奈美
最終評価者	市民文化部 文化課長 梅村美奈子